

研究科長のことば

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科長 徳丸 吉彦

平成11（1999）年春、お茶の水女子大学の大学院人間文化研究科の博士後期課程に新しい専攻が誕生しました。それが「国際日本学」専攻（専攻長 平野由紀子教授）です。本学のさまざまな部門で日本に関する研究をしていた教官を、新しい3つのユニット（総合日本学、日本分析論、応用日本語論）に統合したのです。その目的は、分野の異なる日本研究者のヨコのつながりを強化することと、新しい専攻にまとめることで、学内と学外の連携を強化することにあります。小規模でも国際的な研究集会を開くのも、そのための方策の一つでした。平成11（1999）年7月には、この専攻が中心になって『新しい日本学の構築』と題された国際シンポジウムを開くことができました。その報告書は同年12月に公刊されました。

平成12年（2000）年7月には、もう一つの博士後期課程の専攻である「比較社会文化学」専攻（専攻長 窪添慶文教授）との共催で、『新しい日本学の構築Ⅱ』が開催されました。ここに、その報告書を刊行することができますことを、うれしく思います。今回のシンポジウムの開催に協力して下さった皆様に御礼申し上げます。また、実行のために助成を下さった伊藤謝恩育英財団とサントリー音楽財団に厚く御礼申し上げます。

なお、国際日本学と比較社会文化学の二つの専攻は平成13（2001）年の7月14・15日に第3回のシンポジウムの開催を計画しています。詳しい情報は専攻長の平野由紀子教授（112 - 8610 日本国東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科事務室）にお問い合わせ下さい。